

2021年12月期 第1四半期業績 説明会資料

The AGC logo is displayed in a white box on the right side of the slide. It consists of the letters 'AGC' in a bold, blue, sans-serif font. A small red square is positioned at the top right corner of the letter 'G'.

AGC株式会社

2021年5月7日

Your Dreams, Our Challenge

■ 2021年12月期 第1四半期業績	P.3
1. 業績のポイントと主要項目	P.5
2. セグメント別・地域別の状況	P.12
■ 2021年通期業績見通し	P.20
附属資料	P.26

2021年12月期 第1四半期業績

2021年12月期第1四半期：

(前年同期比)

売上高	3,936 億円	(+361億円)
営業利益	442 億円	(+219億円)

- 東南アジアにおける塩化ビニル樹脂、および建築用ガラスの販売価格上昇や、合成医農薬およびバイオ医薬品の受託件数増加により前年同期比で増収増益
- 戦略事業は順調に業績拡大

1. 業績のポイントと主要項目

2021年12月期 第1四半期業績

(億円)

	FY2020 1Q	FY2021 1Q	増減	主な変動要因 (+)増加要因 (-)減少要因
売上高	3,575	3,936	+ 361*	(+) 東南アジアにおける塩化ビニル樹脂、建築用ガラスの販売価格上昇 (+) ライフサイエンス製品、電子部材およびディスプレイ用ガラス、 建築用ガラスの出荷増加
営業利益	223	442	+ 219	上記に加え、 (+) 欧州建築用ガラスの製造原価改善 (-) 液晶用ガラス基板や半導体関連製品の新規設備立ち上げ等に伴う 減価償却費増加
税引前利益	159	442	+ 282	上記に加え、 (+) 為替差益を計上
親会社の所有者に帰属する 当期純利益	135	288	+ 153	
為替レート (期中平均)	JPY/USD	108.92	105.90	
	JPY/EUR	120.11	127.69	
原油(Dubai,期中平均)	USD/BBL	50.74	60.01	

* うち、為替差影響は+31億円、連結範囲変更の影響は+22億円

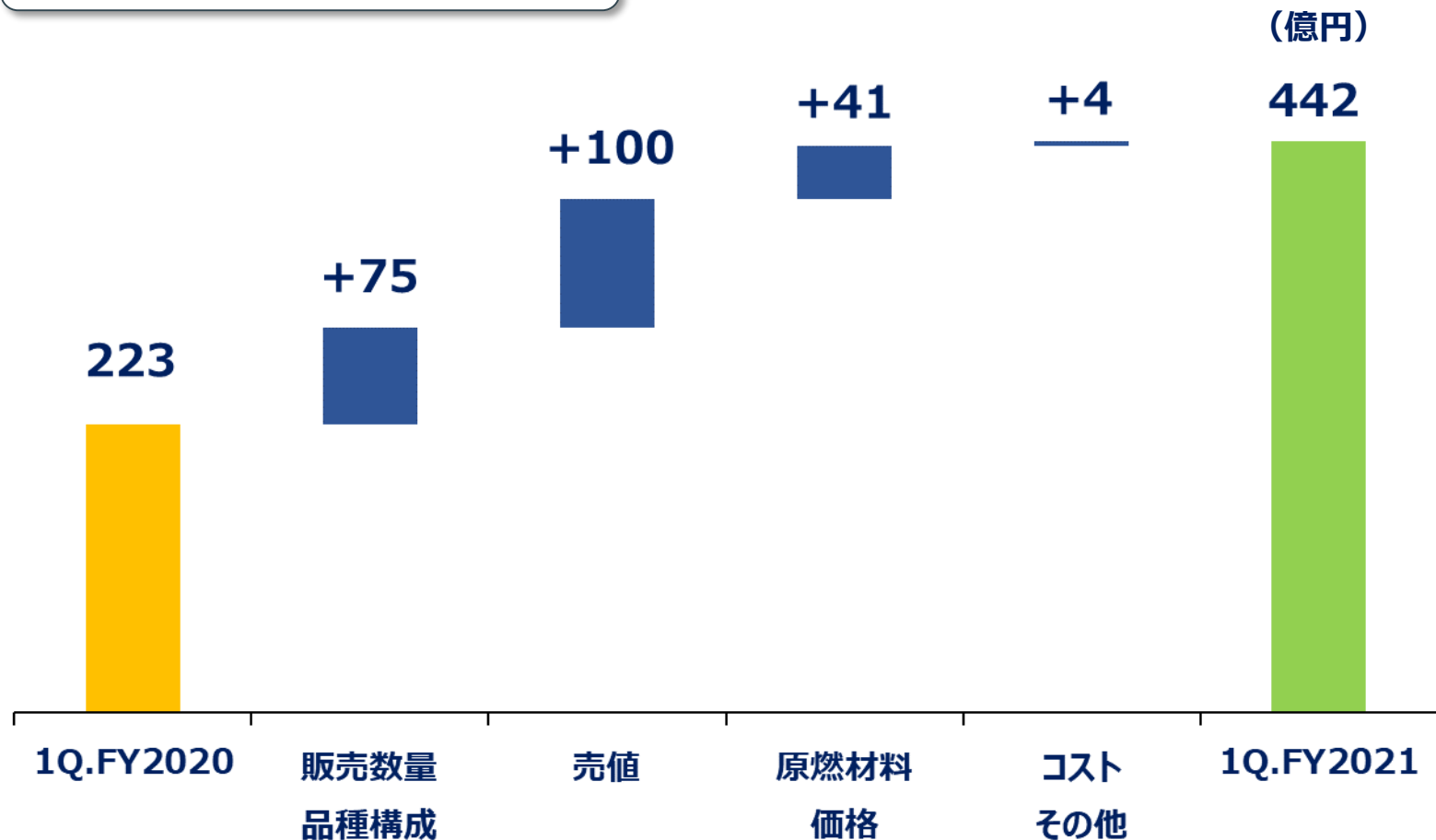
セグメント別業績 前年同期比較

(億円)

	FY2020		FY2021		増減	
	1Q		1Q		(b)-(a)	
	(a)		(b)			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ガラス	1,693	▲ 26	1,806	97	+ 112	+ 122
電子	692	89	710	86	+ 17	▲ 3
化学品	1,142	151	1,373	255	+ 231	+ 104
セラミックス・その他	197	9	176	4	▲ 21	▲ 5
消去	▲ 150	0	▲ 129	1	+ 21	+ 1
連結合計	3,575	223	3,936	442	+ 361	+ 219

営業利益増減要因分析(1Q.FY2021 vs. 1Q.FY2020)

前年同期比 219 億円増益



(億円)

	2020/12	2021/3	増減
現金及び現金同等物	2,361	2,694	+ 333
棚卸資産	2,748	2,865	+ 117
有形固定資産・無形 資産及びのれん	14,376	14,947	+ 571
その他	5,859	6,055	+ 196
資産合計	25,345	26,561	+ 1,217
有利子負債	7,880	8,047	+ 167
その他	5,035	5,249	+ 214
負債の部	12,914	13,296	+ 382
親会社の所有者に 帰属する持分合計	11,151	11,897	+ 745
非支配持分	1,279	1,369	+ 90
資本の部	12,430	13,265	+ 835
負債及び資本合計	25,345	26,561	+ 1,217
D/E比率	0.63	0.61	

← 為替差影響
+695億円

(億円)

	1Q	
	FY2020	FY2021
税引前利益	159	442
減価償却費及び償却費	366	386
運転資金増減	▲ 11	10
その他	129	75
営業活動によるCF	644	913
投資活動によるCF	▲ 494	▲ 472
フリーキャッシュフロー	150	440
有利子負債増減	523	4
支払配当	▲ 133	▲ 133
その他	18	▲ 29
財務活動によるCF	408	▲ 158
現金等に係る換算差額	▲ 62	50
現金等の増加額	496	333

(億円)

1Q

FY2020 FY2021

	FY2020	FY2021
設備投資額	517	540
ガラス	133	113
電子	176	176
化学品	208	246
セラミックス・その他	0	6
消去	▲ 0	0
減価償却費	366	386
ガラス	130	134
電子	120	132
化学品	105	116
セラミックス・その他	11	5
消去	▲ 0	▲ 0
研究開発費	111	118

【主な設備投資案件】

- ・半導体関連製品製造設備増強 (電子)
- ・ディスプレイ中国G11投資 (電子)
- ・フッ素関連製品能力増強 (化学品)
- ・バイオ医薬品能力増強 (化学品)
- ・東南アジア塩ビ能力増強 (化学品)

など

【主な減価償却費増加要因】

- ・半導体関連製品製造設備増強 (電子)
- ・ディスプレイ中国G11投資 (電子)

など

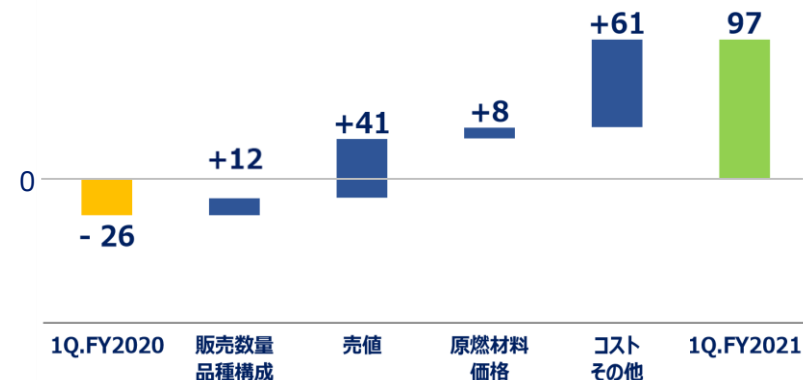
2. セグメント別・地域別の状況

(億円)

	1Q		増減
	FY2020	FY2021	
売上高	1,693	1,806	+ 112*
建築用ガラス	801	891	+ 90
自動車用ガラス	889	908	+ 19
(セグメント間)	3	7	
営業利益	▲ 26	97	+ 122

* うち、為替差影響は+29億円、連結範囲変更の影響は+0.4億円

営業利益増減要因分析



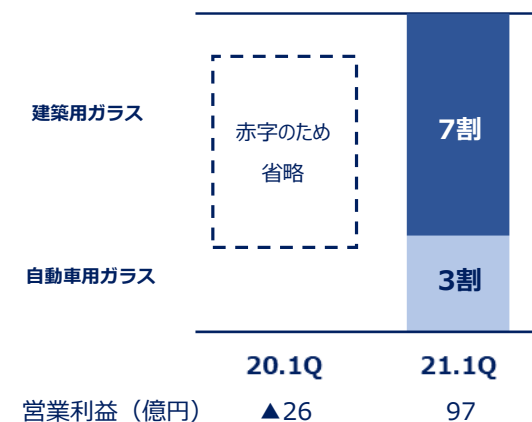
〔建築用ガラス〕

- ・ 日本を除く地域で出荷が堅調に推移
- ・ 欧州・南米を中心に販売価格が上昇
- ・ 欧州建築用ガラス製造設備における稼働率向上により製造原価が低減

〔自動車用ガラス〕

- ・ 中国を除く地域の自動車生産台数は前年同期を下回るものの、中国での自動車生産台数が大幅に増加し、出荷が増加

営業利益構成比 (共通費配賦前)

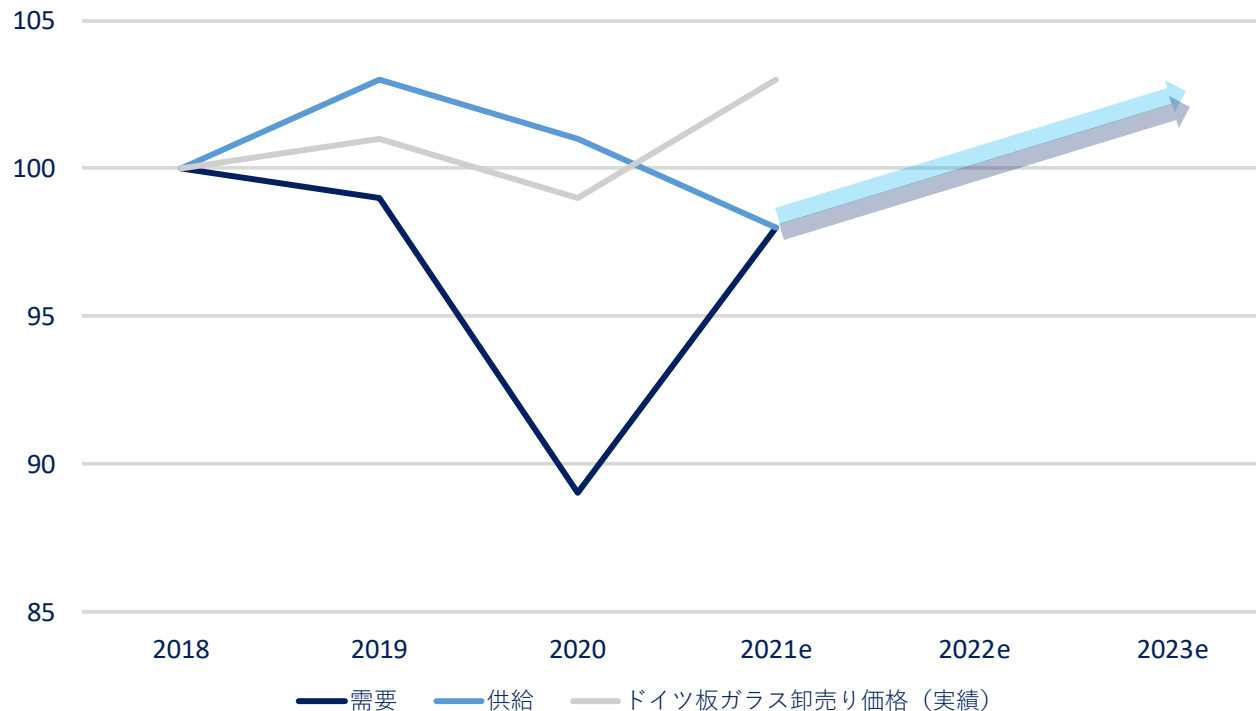


(ご参考) 欧州建築用ガラス需給の構造変化

- 西中欧板ガラスの需給バランスは均衡のとれていた2018年並みに回復
- 需給バランス改善に伴い、販売価格も良化
- 現時点で需要増を超える供給量の増加は見込まれておらず、事業環境は安定的に推移

西中欧地域 板ガラス需給とドイツ板ガラス卸売り価格 推移

(2018年を100とする)

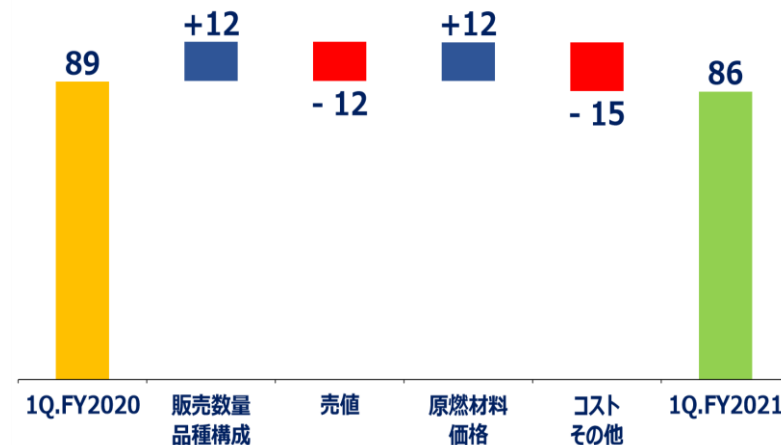


(億円)

	1Q		増減
	FY2020	FY2021	
売上高	692	710	+ 17*
ディスプレイ	433	461	+ 28
電子部材 (セグメント間)	238	230	▲ 7
営業利益	89	86	▲ 3

* うち、為替差影響は+1億円、連結範囲変更の影響はなし

営業利益増減要因分析



〔ディスプレイ〕

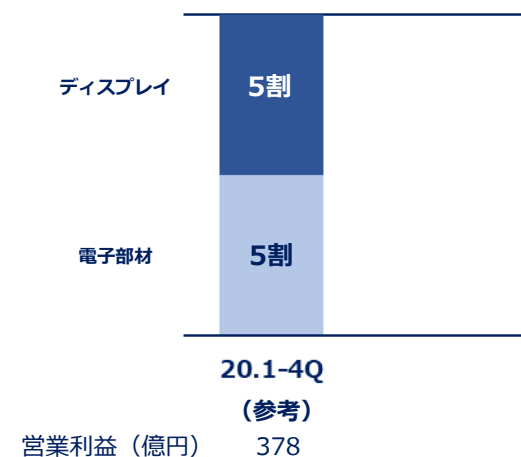
- ・ 液晶用ガラス基板およびディスプレイ用特殊ガラスの出荷が増加
- ・ 液晶用ガラス基板の新規設備立ち上げにより、減価償却費が増加

〔電子部材〕

- ・ EUVマスクブランク等半導体関連製品および
オプトエレクトロニクス用部材の出荷が増加
- ・ プリント基板材料は米中貿易摩擦の影響などにより出荷が減少
- ・ 半導体関連製品の新規設備立ち上げなどにより、減価償却費が増加

営業利益構成比 (共通費配賦前)

季節性を含め変動が大きいため、年間で内訳を開示

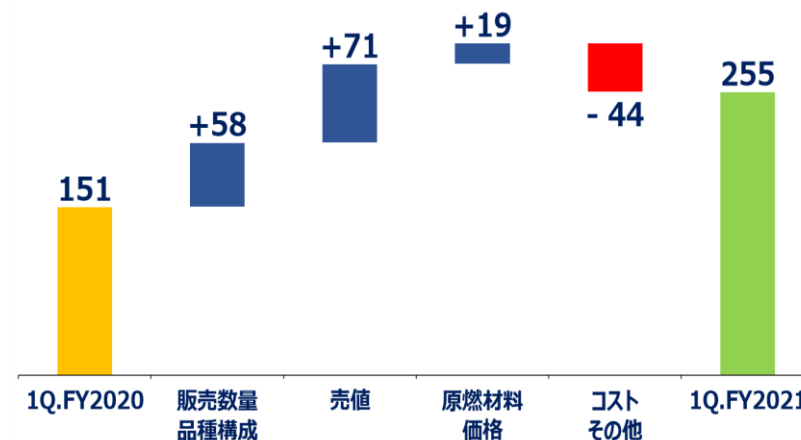


(億円)

	1Q		増減
	FY2020	FY2021	
売上高	1,142	1,373	+ 231*
クローラルカリ・ウレタン	695	822	+ 126
フッ素・スペシャリティ	283	269	▲ 14
ライフサイエンス	160	279	+ 119
(セグメント間)	4	3	
営業利益	151	255	+ 104

* うち、為替差影響は▲0.2億円、連結範囲変更の影響は+22億円

営業利益増減要因分析



〔クローラルカリ・ウレタン〕

- ・ 東南アジアで塩化ビニル樹脂の販売価格が上昇

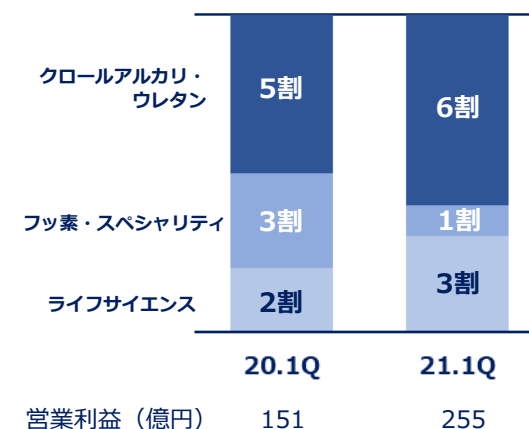
〔フッ素・スペシャリティ〕

- ・ 自動車向けフッ素関連製品の出荷は回復基調にあるものの、航空機向けフッ素関連製品の出荷が低調

〔ライフサイエンス〕

- ・ 新型コロナウイルス関連の案件も加わり、合成医薬品およびバイオ医薬品の受託件数が増加

営業利益構成比 (共通費配賦前)



強み 1

市場構造の強み

- ・ 東南アジアの高い経済成長率を背景に、塩化ビニル樹脂の域内需要は年率5%*成長
- ・ 原料（エチレン）価格上昇を塩化ビニル樹脂価格に反映できる市場
- ・ 苛性ソーダと塩素両方の製品販売力が必要なため、域内他社による大型の電解設備増強計画なし

強み 2

圧倒的な市場ポジションと強固なお客様基盤

- ・ 苛性ソーダ、塩化ビニル樹脂とも東南アジアで50%以上のシェアを確保
- ・ 1960年代にタイ、1980年代にインドネシアに進出しており、確固とした販売網と物流網を構築
- ・ 域内最大の生産能力と高い生産技術による安定供給でお客様の信頼獲得

強み 3

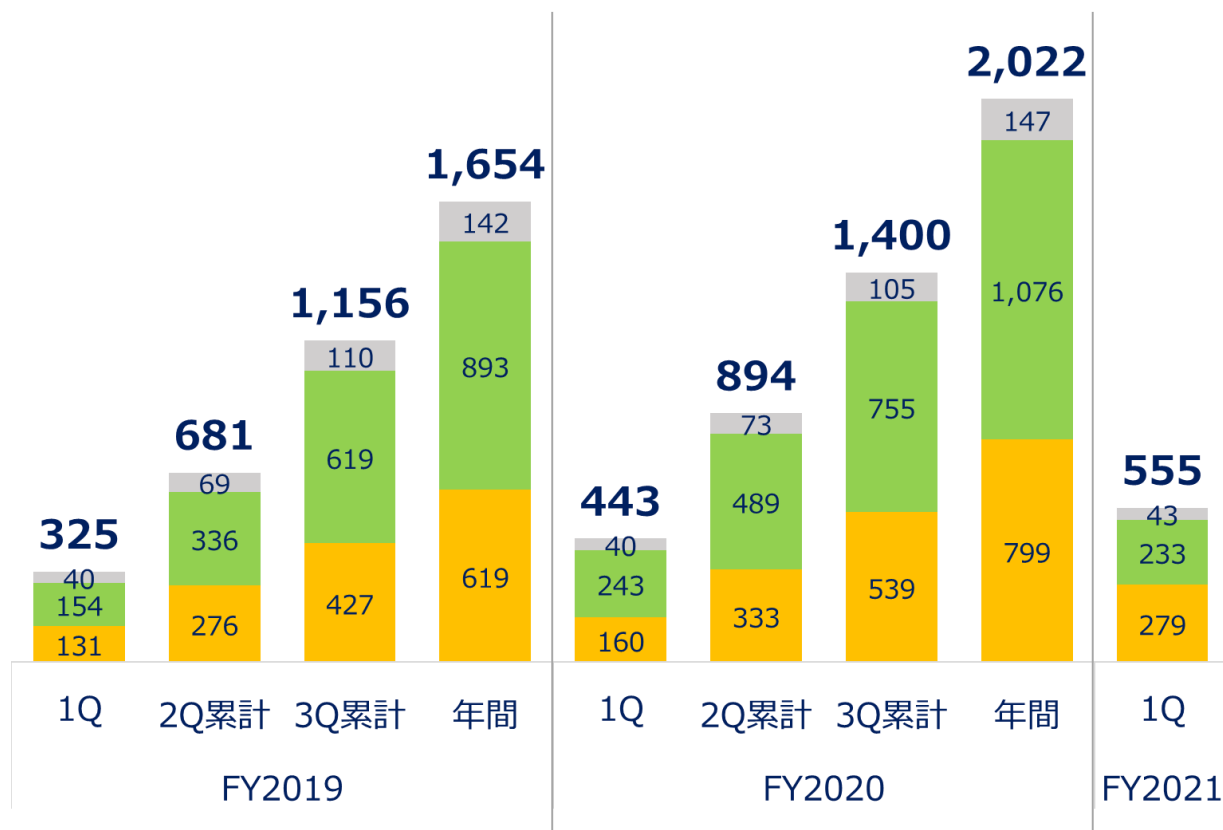
域内での競争優位性

- ・ 電解からPVCまでの一貫生産体制により蓄積してきたオペレーション技術による安定生産
- ・ インドネシア、タイ、ベトナムで域内最適生産が可能
- ・ タイの有力エチレンメーカーであるPTTGCとの連携を強化

中長期的に高い利益率を維持し、成長することが可能

■ ライフサイエンスを中心に、順調に推移

戦略事業売上高推移 (億円)



主な製品・事業

モビリティ

- ・車載ディスプレイ用
カバーガラス
- ・モビリティ新規部材
(含5G通信)

エレクトロニクス

- ・半導体関連部材
- ・オプトエレクトロニクス用部材
- ・次世代高速通信用部材
- ・エレクトロニクス用フッ素製品

ライフサイエンス

- ・合成医薬
- ・バイオ医薬

戦略事業 営業利益

53	104	222	331	93	177	296	444	113
----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----

(億円)

地域別業績 前年同期比較

	1Q		(億円)
	FY2020	FY2021	増減
売上高	3,575	3,936	+ 361
日本・アジア	2,375	2,570	+ 195
アメリカ	390	426	+ 36
ヨーロッパ	810	939	+ 129
営業利益	223	442	+ 219
日本・アジア	279	376	+ 98
アメリカ	8	37	+ 30
ヨーロッパ	26	119	+ 93
地域共通費用	▲ 89	▲ 90	▲ 1

為替影響：
+31億円

新規連結影響：
+22億円

2021年通期業績の見通し

2021年 通期業績見通し

- 業績はコロナ禍からの回復に加え、塩化ビニル樹脂の高値継続により大幅な増収増益を見込む

(億円)

		FY2020	FY2021 (2/5予想)	FY2021 (4/12予想)
売上高		14,123	15,300	16,500
	(上期)	6,545	7,500	8,000)
営業利益		758	1,000	1,600
	(上期)	206	450	850)
税引前利益		571	870	1,420
親会社の所有者に帰属する				
当期純利益		327	560	830
1株当たり配当 (円)		120	120	140
営業利益率		5.4%	6.5%	9.7%
ROE		2.9%	5.0%	7.4%*
為替レート (期中平均)	JPY/USD	106.8	105.0	109.0
	JPY/EUR	121.8	125.0	129.0
原油 (Dubai,期中平均)	USD/BBL	42.2	50.0	64.0
エチレン(CFR SEA)	USD/MT	713	800	1,000

* FY2021予想のROEは、2020年12月末時点の親会社の所有者に帰属する持分合計を使用しています。

セグメント別 売上高/営業利益見通し

(億円)

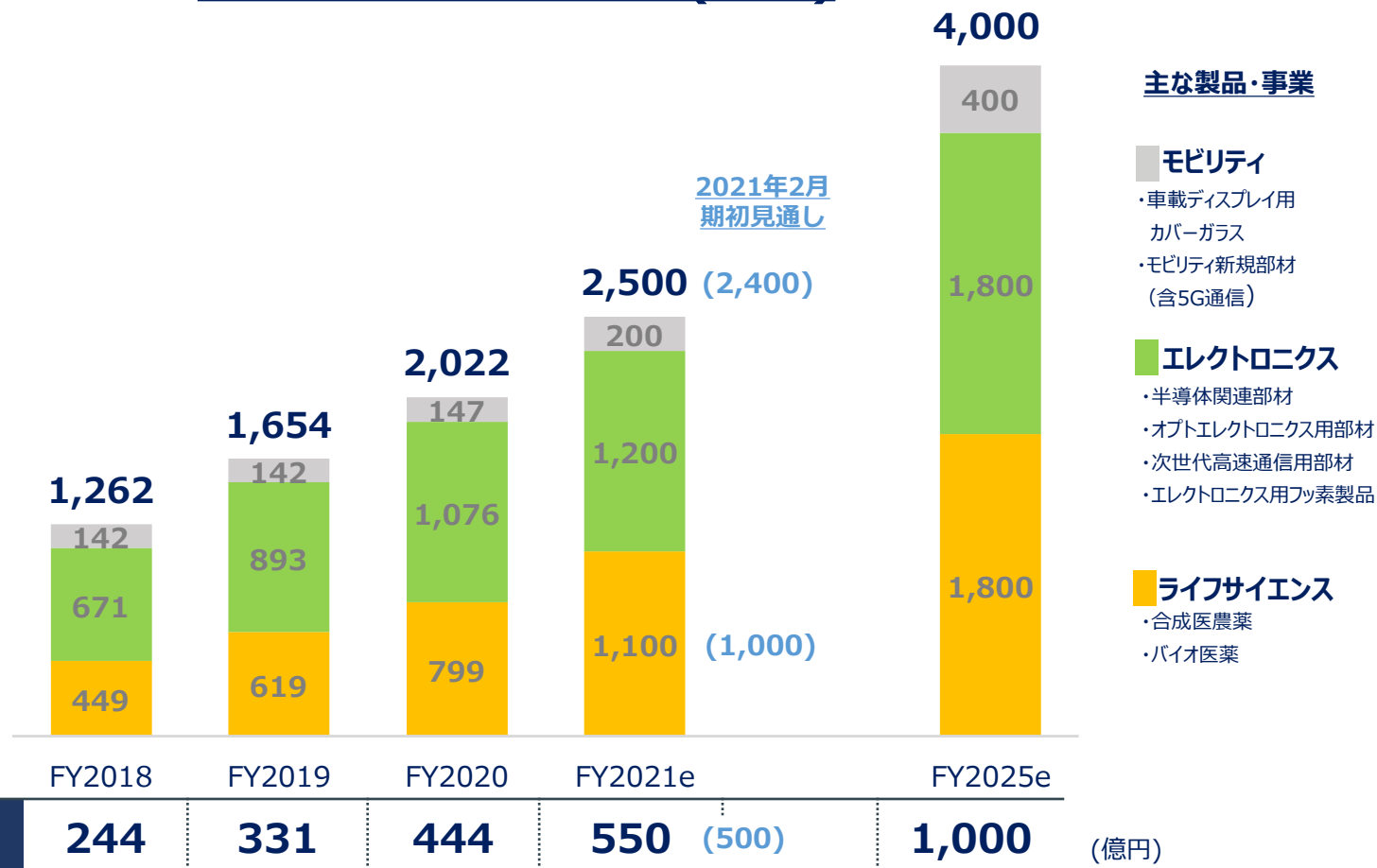
	FY2020		FY2021 通期予想(4/12予想)		増減		FY2021 通期予想(2/5予想)		増減	
	(a)		(b)		(b)-(a)		(c)		(b)-(c)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ガラス	6,510	▲ 166	7,400	330	+ 890	+ 496	7,000	80	+ 400	+ 250
電子	2,894	378	3,200	300	+ 306	▲ 78	3,100	300	+ 100	+ 0
化学品	4,512	505	5,600	950	+ 1,088	+ 445	4,900	600	+ 700	+ 350
セラミックス・その他	811	42	800	20	▲ 11	▲ 22	800	20	+ 0	+ 0
消去	▲ 603	▲ 1	▲ 500	0	+ 103	+ 1	▲ 500	0	+ 0	+ 0
連結合計	14,123	758	16,500	1,600	+ 2,377	+ 842	15,300	1,000	+ 1,200	+ 600

2021年 見通し

<p>ガラス</p>	<p>(建築用ガラス) ・多くの地域で需要が回復し、出荷も回復</p> <p>(自動車用ガラス) ・世界の自動車生産台数は半導体不足により、一時的な影響は懸念されるも、通年では前年を上回り、出荷は緩やかに回復</p>
<p>電子</p>	<p>(ディスプレイ) ・液晶用ガラス基板は中国向けの出荷が増加、需給逼迫したため1Qの価格は上昇、2Q以降も1Qと同様の需給状況が継続 ・ディスプレイ用特殊ガラスはスマートフォン市場の回復により、出荷が増加 ・液晶用ガラス基板の新規設備立ち上げにより、減価償却費が増加</p> <p>(電子部材) ・EUVマスクブランクス等の半導体関連製品やオプトエレクトロニクス用部材の出荷は堅調に推移 ・半導体関連製品の新規設備立ち上げなどにより、減価償却費が増加</p>
<p>化学品</p>	<p>(クロールアルカリ・ウレタン) ・東南アジアの塩化ビニル樹脂は、堅調な需要が継続、苛性ソーダの需要は緩やかに回復</p> <p>(フッ素・スペシャリティ) ・航空機向け出荷は低調に推移するも、自動車向け・半導体向けの需要が緩やかに回復</p> <p>(ライフサイエンス) ・新型コロナウイルス用ワクチン開発関連の受託もあり、堅調に推移</p>

■ 今年2月発表時点から、ライフサイエンスの業績が上振れる見通し

戦略事業売上高推移 (億円)



設備投資額・減価償却費・研究開発費

年間 (億円)

FY2020 FY2021e

	FY2020	FY2021e
設備投資額	2,413	2,000
ガラス	641	480
電子	807	680
化学品	952	820
セラミックス・その他	15	20
消去	▲ 2	0
減価償却費	1,437	1,600
ガラス	510	500
電子	479	600
化学品	430	480
セラミックス・その他	19	20
消去	▲ 1	0
研究開発費	464	550

【主な設備投資案件】

- ・ディスプレイ中国G11投資（電子）
- ・半導体関連製品製造設備増強（電子）
- ・フッ素関連製品能力増強（化学品）
- ・東南アジア塩ビ能力増強（化学品）
- ・バイオ医薬品能力増強（化学品）

など

付属資料

セグメント別 ROCE・EBITDA (2020年度末)

(億円)

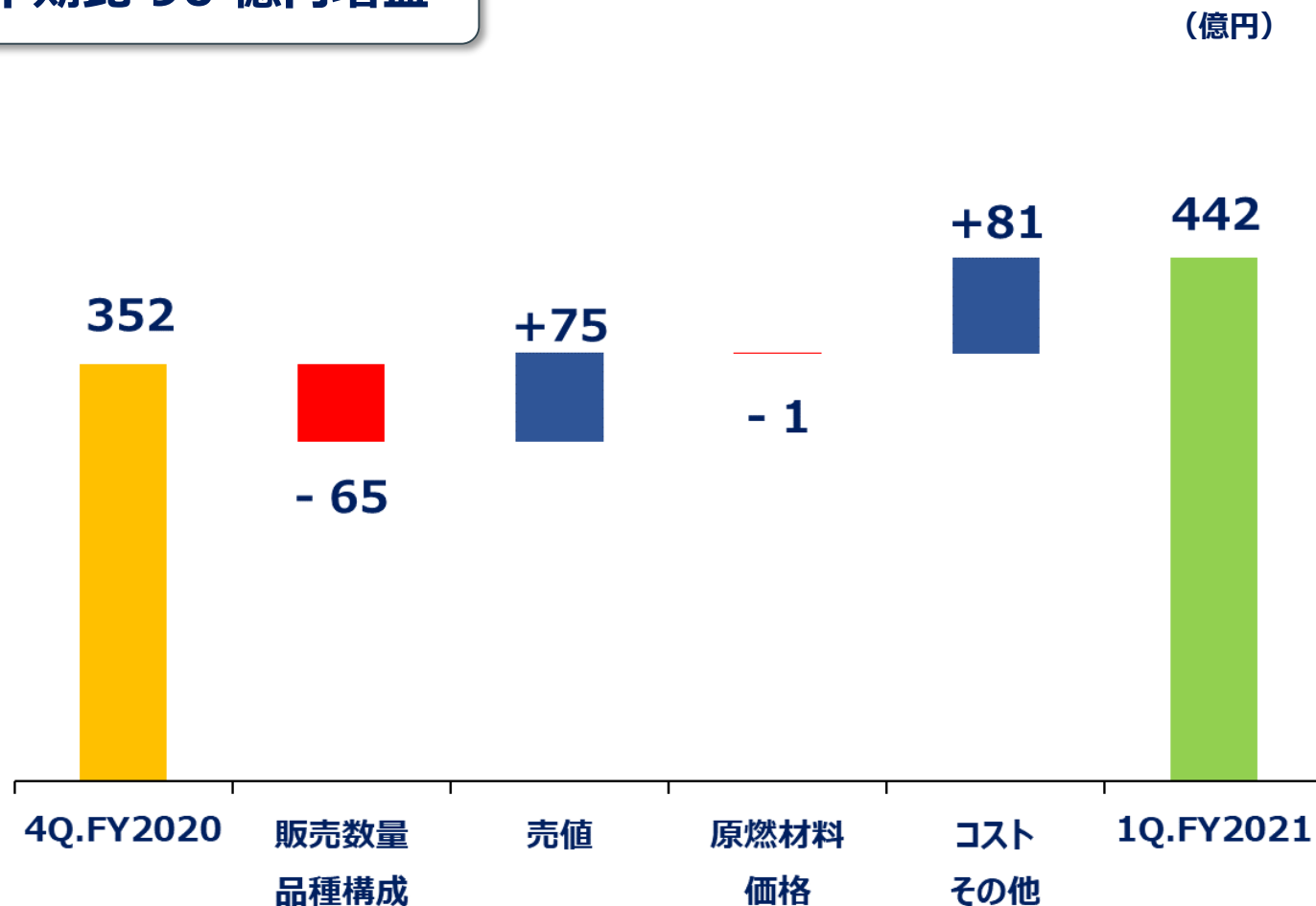
	営業利益	EBITDA	ROCE※	営業資産
ガラス	▲ 166	344	-	6,400
電子	378	857	6.3%	6,000
化学品	505	935	8.9%	5,700
セラミックス・その他	42	62	14.1%	300
消去ほか	▲1	▲2	-	-
合計	758	2,195	4.1%	18,400

※ROCEは2020年末時点の営業資産を元に計算

リスク要因	営業利益に対するインパクト	補足
為替	1%円高で <u>2億円</u> *減益	*JPYに対して全ての通貨が同じ割合で動いた場合の影響額
ドバイ原油	1バレルあたり1ドル上昇した場合、 <u>3億円</u> *減益	*オイルヘッジ影響除く
化学品 市況	①苛性ソーダ: 国際市況が\$ 1 下がると\$ <u>1 M</u> の減益 ②塩ビスプレッド: \$ 1 下がると\$ <u>1.2M</u> の減益*	*塩ビスプレッド: 塩ビ市況 - (エチレン市況×0.5)

営業利益増減要因分析(1Q.FY2021 vs. 4Q.FY2020)

前四半期比 90 億円増益



売上高 セグメント・地域別展開 前年同期比較

(億円)

		日本・ アジア	アメリカ	ヨーロッパ	セグメント間	合計	
ガラス	建築用ガラス	1 Q .FY2021	279	125	488	-	891
		1 Q .FY2020	291	99	412	-	801
	自動車ガラス	1 Q .FY2021	513	141	253	-	908
		1 Q .FY2020	465	160	264	-	889
		1 Q .FY2021	792	266	741	7	1,806
		1 Q .FY2020	756	259	675	3	1,693
電子	1 Q .FY2021	635	54	2	19	710	
	1 Q .FY2020	620	48	3	22	692	
化学品	1 Q .FY2021	1,068	106	196	3	1,373	
	1 Q .FY2020	924	83	132	4	1,142	
セラミックス・その他	1 Q .FY2021	75	-	-	101	176	
	1 Q .FY2020	76	-	-	121	197	
消去	1 Q .FY2021	-	-	-	▲ 129	▲ 129	
	1 Q .FY2020	-	-	-	▲ 150	▲ 150	
合計	1 Q .FY2021	2,570	426	939	-	3,936	
	1 Q .FY2020	2,375	390	810	-	3,575	

(億円)

ガラス	1Q.19	2Q.19	3Q.19	4Q.19	1Q.20	2Q.20	3Q.20	4Q.20	1Q.21
売上高	1,861	1,890	1,840	1,837	1,693	1,249	1,717	1,851	1,806
建築用ガラス	857	890	875	905	801	706	840	901	891
自動車用ガラス	1,001	996	963	923	889	534	869	943	908
(セグメント間)	4	5	3	9	3	8	7	7	7
営業利益	35	39	23	▲ 4	▲ 26	▲ 182	▲ 12	53	96

電子	1Q.19	2Q.19	3Q.19	4Q.19	1Q.20	2Q.20	3Q.20	4Q.20	1Q.21
売上高	594	652	761	760	692	693	715	792	710
ディスプレイ	398	441	449	460	433	433	448	458	461
電子部材	160	185	283	276	238	247	257	316	230
(セグメント間)	36	26	28	24	22	13	10	19	19
営業利益	25	35	109	87	89	85	99	106	87

化学品	1Q.19	2Q.19	3Q.19	4Q.19	1Q.20	2Q.20	3Q.20	4Q.20	1Q.21
売上高	1,127	1,158	1,197	1,275	1,142	983	1,091	1,296	1,373
クローラルカリ・ウレタン	705	710	745	768	695	559	632	755	822
フッ素・スペシャリティ	287	299	302	311	283	247	250	278	269
ライフサイエンス	132	146	147	193	160	173	207	260	279
(セグメント間)	3	4	4	3	4	5	3	3	3
営業利益	144	118	177	191	151	75	98	180	255

数量・価格動向

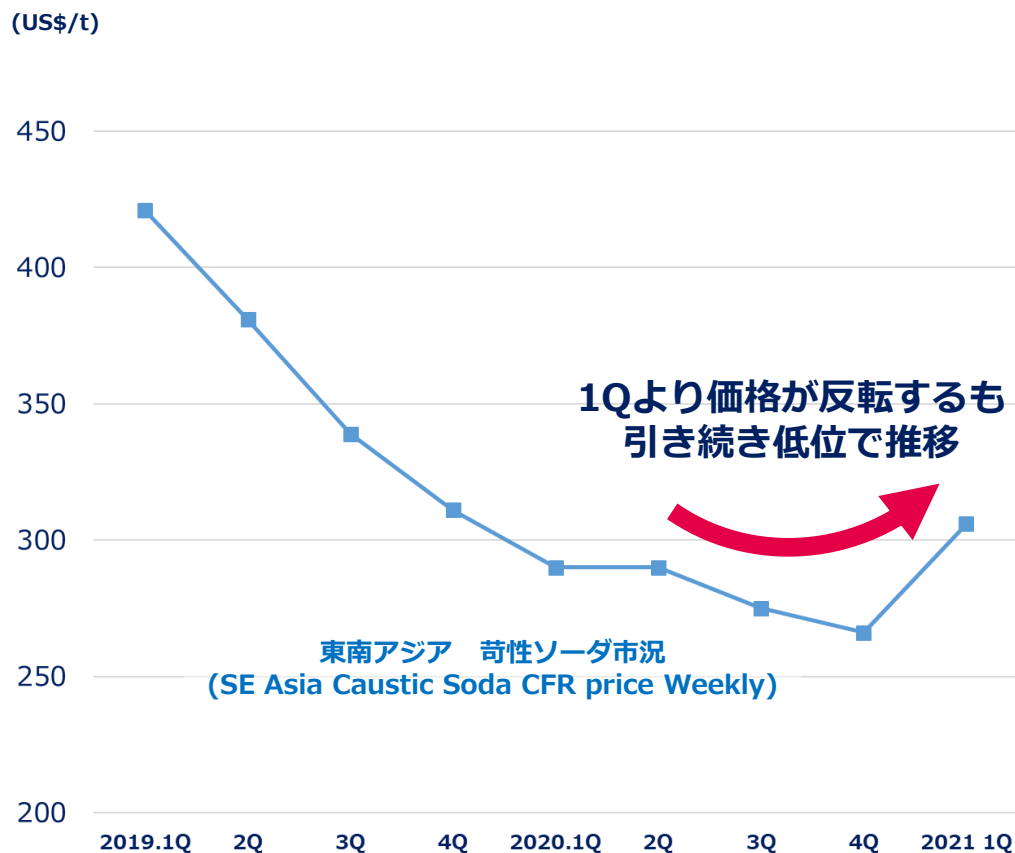
					2020				2021	
					1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	
前年同四半期比 (YoY)										
ガラス	建築用ガラス (AGC)	日ア	数量		-数%	-1割弱	+1桁半ば	+数%	+約1割	
			価格(日)		+数%	+1桁半ば	+数%	+数%	+数%	
		北米	数量		-1割弱	-約2割	+数%	+1割強	+2割弱	
			価格		-1割弱	-1桁半ば	-1桁半ば	-1桁半ば	+数%	
	欧州	数量		横ばい	-約2割	+数%	-1桁半ば	微増		
		価格		-1割強	-2割強	-2割弱	-数%	+1割弱		
	自動車用生産台数 (IHS Markit 3/16データより)	日本	数量		-7%	-48%	-12%	+3%	-4%	
			北米	数量		-11%	-68%	+0%	+0%	-5%
欧州・ロシア			数量		-17%	-60%	-6%	+1%	-3%	
電子	ディスプレイパネル需要* (Omdia社)	グローバル	面積		0%	+5%	+12%	+7%	+17%	
市況実績値										
化学品	東南アジアクロアリ (Bloombergより)	苛性ソーダ	価格	USD/MT	290	290	275	266	306	
			PVC	価格	USD/MT	805	790	970	1,230	1,580
			エチレン	価格	USD/MT	500	800	805	920	985

*Source : Omdia-2020-Q4-Display Long-Term Demand Forecast Tracker-Pivot

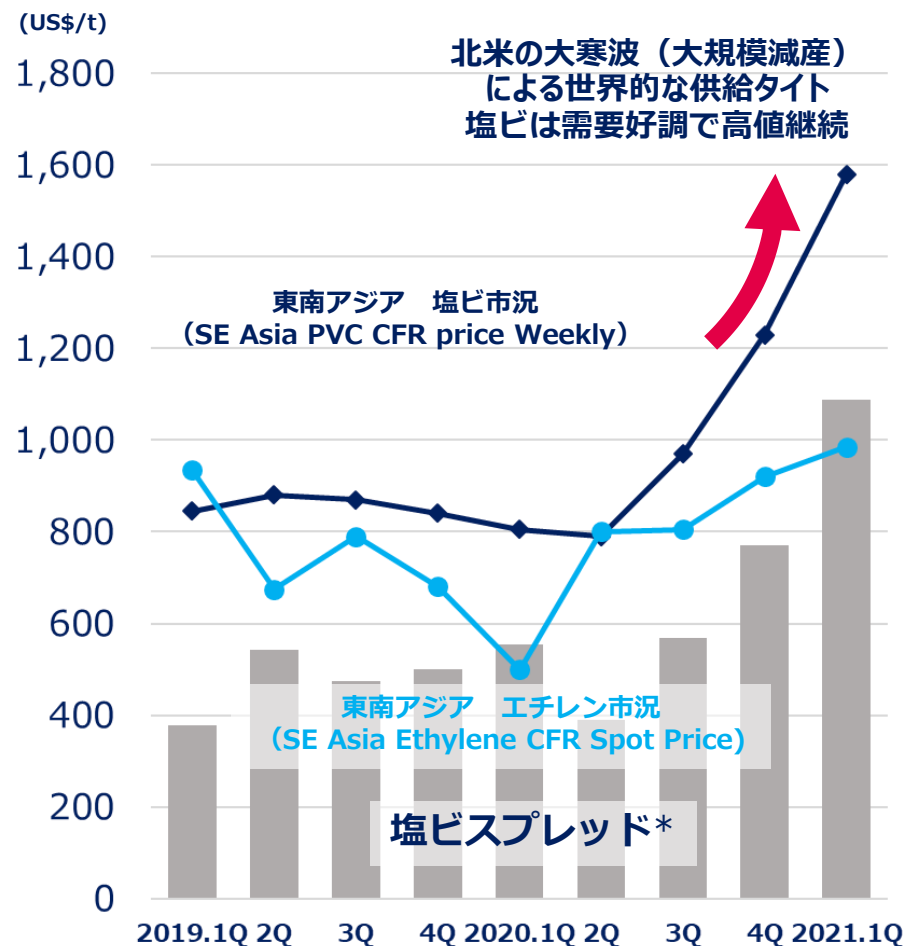
Results are not an endorsement of AGC Inc. Any reliance on these results is at the third-party's own risk.

(ご参考) 東南アジア 苛性ソーダ、塩ビ市況

苛性ソーダ市況



塩ビ市況



*塩ビスプレッド：塩ビ市況 - (エチレン市況×0.5)で計算

		IFRS				
		16/12	17/12	18/12	19/12	20/12
売上高	百万円	1,282,570	1,463,532	1,522,904	1,518,039	1,412,306
営業利益	百万円	96,292	119,646	120,555	101,624	75,780
営業利益率	%	7.5	8.2	7.9	6.7	5.4
親会社の所有者に帰属する当期純利益	百万円	47,438	69,225	89,593	44,434	32,715
自己資本当期純利益率 (ROE) *1	%	4.3	6.1	7.7	3.9	2.9
総資産営業利益率 (ROA) *2	%	4.8	5.7	5.4	4.4	3.1
自己資本比率	%	55	53	51	50	44
D/E (有利子負債・純資産比率)	倍	0.37	0.38	0.43	0.47	0.63
営業CF/有利子負債	倍	0.47	0.42	0.35	0.32	0.29
一株当たり当期純利益 (EPS) *3	円	205.14	302.12	399.51	200.85	147.84
一株当たり配当金	円	90	105	115	120	120
EBITDA *4	百万円	195,767	249,880	259,425	231,857	208,459
為替レート (期中平均)	円/ドル	108.84	112.19	110.43	109.05	106.82
	円/ユーロ	120.33	126.66	130.42	122.07	121.81

*1 親会社の所有者に帰属する当期純利益/親会社の所有者に帰属する持分合計 (期中平均)

*2 営業利益/総資産 (期中平均)

*3 当社は、2017年7月1日をもって普通株式5株を1株に併合しています。一株当たり当期純利益は株式併合の影響を踏まえて換算しています。

*4 EBITDA (支払利息・税金・減価償却費控除前利益) = 税引前利益 + 減価償却費 + 支払利息

その他の財務指標についてはこちらを参照ください。 https://www.agc.com/ir/pdf/data_all.pdf

サステナビリティ “製品・技術”を通じて社会的価値を創出

重要機会

AGCグループの主な素材・ソリューション

気候変動問題への対応

建築用ガラス、グリーン冷媒、自動車用赤外線カットガラス、バイオマス炉材等

資源の有効利用

燃料電池用部材、リサイクル原料使用製品（ガラス・耐火物等）

社会インフラの整備

建築用ガラス、苛性ソーダ、次亜塩素酸ソーダ、重曹、塩ビ等

安全・快適なモビリティの実現

自動車用ガラスアンテナ、車載センシング・レーダー用部材、HUD部材等

情報化・IoT社会の構築

建物窓取付アンテナ、半導体製造用部材、ディスプレイ用ガラス、高速通信用部材等

食糧問題への対処

農薬原体・中間体、農業温室ハウス用フィルム等

健康・長寿社会への対応

医薬品原体・中間体、高速通信用部材、水処理用高機能膜等

社会的価値

関連するSDGs

持続可能な地球環境の実現
への貢献



安全・快適な都市インフラの
実現への貢献



安心・健康な暮らしの実現
への貢献



サステナビリティ“健全な企業活動”を通じて社会的価値を創出

重要リスク

気候変動問題への対応

資源の有効利用

社会・環境に配慮した
サプライチェーン

地域社会との関係・
環境配慮

公正・平等な雇用と
職場の安全確保

AGCグループの企業活動

継続的な省エネ対策実施、GHG排出量を低減する生産技術・設備開発 等

再生原材料や再生資材の活用、埋立て処分の削減 等

人権尊重・環境保護を重視したサプライヤー管理 等

水使用量削減、生物多様性保全、環境事故撲滅、地域のファン作り 等

従業員エンゲージメントの向上、重篤災害・休業災害の発生防止 等

社会的価値

持続可能な地球環境の実現
への貢献

健全・安心な社会の維持
への貢献

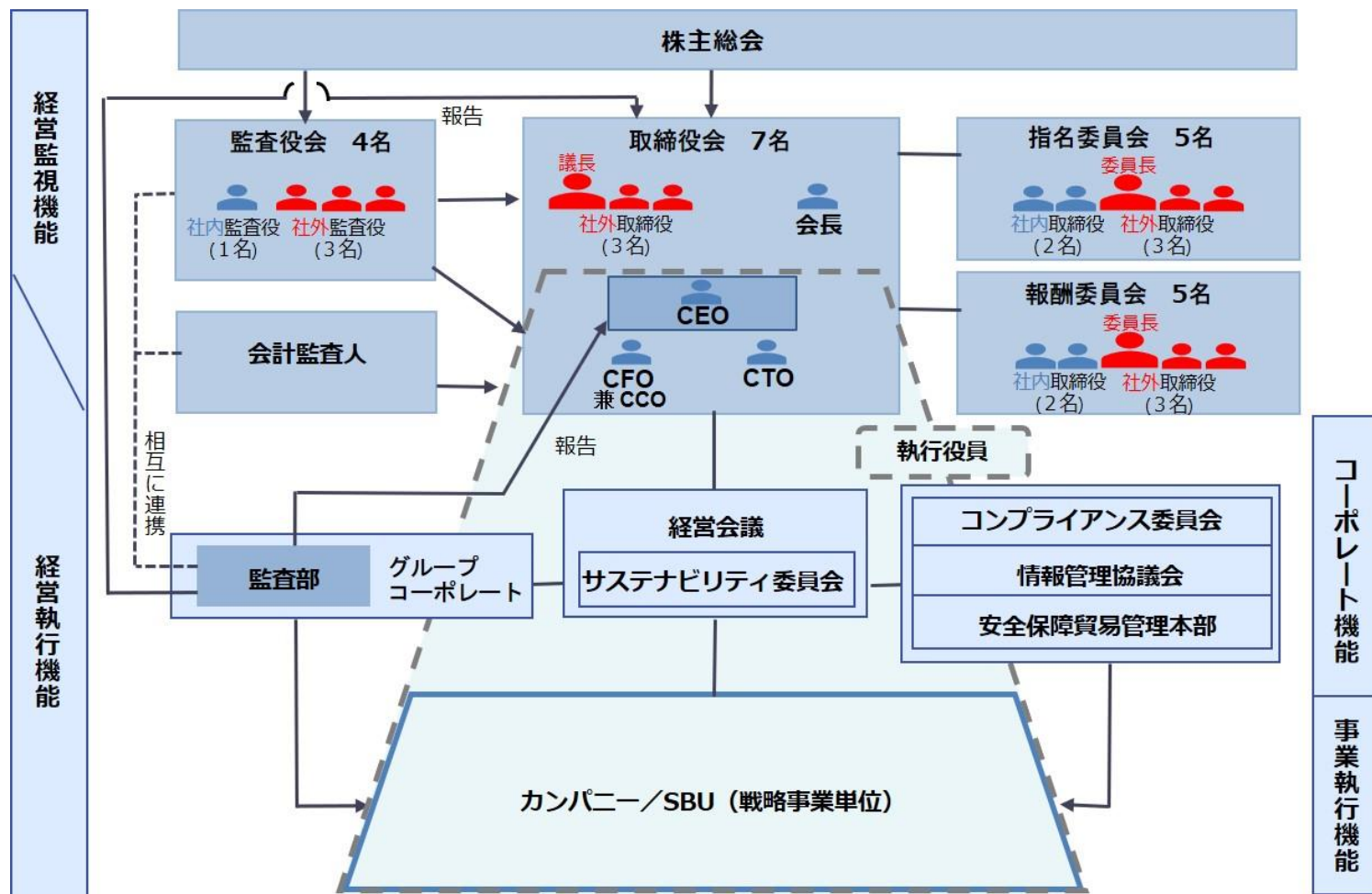
公正・安全な働く場の創出
への貢献



関連するSDGs



当社のコーポレートガバナンス体制

< 2021年3月30日からの体制 >



 : 社内出身の取締役又は監査役
 : 独立性が確保された社外取締役又は社外監査役

<p>FTSE4Good Index Seriesに選定</p>	 <p>FTSE4Good</p>
<p>FTSE Blossom Japan Indexに選定</p>	 <p>FTSE Blossom Japan</p>
<p>女性活躍推進に優れた企業を選定する 「なでしこ銘柄」に昨年に引き続き選定</p>	 <p>NADE SHI KO BRAND 2021</p>
<p>企業としてのデジタル化を評価され、 「DX銘柄2020」に選定</p>	 <p>DX銘柄2020 Digital Transformation</p>
<p>「健康経営優良法人2021ホワイト500」 に選定</p>	 <p>2021 健康経営優良法人 Health and productivity ホワイト500</p>
<p>EcoVadisサプライヤー評価で最高ランクを取得 鹿島工場：「PLATINUM」 千葉工場、AGCファーマケミカルズ：「GOLD」</p>	 <p>PLATINUM 2020 ecovadis CSR Rating</p> <p>GOLD 2020 ecovadis Sustainability Rating</p>
<p>Derwent Top 100 グローバル・イノベーター 2021 に選定</p>	

発表日	内容
1月14日	セントラル硝子株式会社との国内建築用ガラス事業統合に係る協議の中止に関するお知らせ
1月14日	通期連結業績予想の修正に関するお知らせ
1月26日	メタサーフェス技術により窓ガラスの電波レンズ化に世界で初めて成功
2月3日	海外に拠点を持つ法人への5Gソリューション展開をめざしたコンソーシアムの設立に向け基本合意
2月5日	新たな経営方針、長期経営戦略および中期経営計画を策定
2月16日	AGC千葉工場、5Gを見据えてプライベートLTEネットワークを導入
2月22日	「日経Smart Work大賞2021」審査委員特別賞を受賞
3月3日	AGC Biologicsミラノ拠点、遺伝子・細胞治療CDMOの培養能力を増強
3月4日	2年連続で「健康経営優良法人～ホワイト500～」に認定
3月19日	インドシナ半島のクロール・アルカリ事業3社の統合再編を決定
3月22日	女性活躍推進に優れた企業として「なでしこ銘柄」に選定
3月25日	トヨタ自動車より「グローバル貢献賞」など7部門を受賞
4月12日	連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ
4月12日	建築用ガラス事業の組織改正を実施
4月26日	原燃材料の自動管理システム「Smart Inventory System」を開発



Your Dreams, Our Challenge

END

予測に関する注意事項：

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権はAGC株式会社に帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。